

川の市民情報



国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所RCM事務局 URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
TEL : 045-503-4015 FAX : 045-503-4092 メール/keihia50@ktr.mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM) : 住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

第8期リバーシビックマネージャー(RCM) 平成26年度前期分科会を開催しました

京浜河川事務所ではRCMの皆様の普段の活動内容の発表や情報交換、RCM相互間の懇親等を目的として、毎年2回担当河川毎の分科会を開催しています。第8期RCMの最初の分科会として、9月3日(火)の多摩川上流分科会を皮切りに、9月30日(火)の相模川分科会まで7分科会を各地において計6回(鶴見川については合同)を開催致しました。皆さんお忙しいところ、各分科会に参加していただきありがとうございました。後期分科会については2月から3月頃を予定していますので、都合により今回参加できなかった皆様方も是非ご参加下さい。

各分科会においては京浜河川事務所から管理区間や事務所の取り組み、各出張所の工事内容等をご説明させて頂き、その後RCMの方からの発表、フリートークによる活発な意見交換が行われました。



相模川分科会



鶴見川合同分科会



前月号ご紹介以降の分科会の様子



平成26年度前期分科会開催状況

分科会名	実施会場	参加人数	実施日
鶴見川上下流合同分科会	鶴見川流域センター会議室	2名	9月25日
		2名	
多摩川上流分科会	出張所会議室	1名	9月3日
多摩川中流分科会	ニヶ領せせらぎ館	7名	9月11日
多摩川下流分科会	出張所会議室	4名	9月9日
浅川分科会	日野市平山交流センター	4名	9月4日
相模川分科会	出張所会議室	4名	9月30日

意見交換では築堤工事の状況、外来植物の駆除、河川利用のマナー問題、異常気象、災害時にどの様に身を守るか等多岐にわたった話題で盛り上がり、RCMの皆さんの川に対する想いがひしひしと伝わってきました。

～シンポジウムのお知らせ～ 鶴見川

今年は、「鶴見川流域水マスタープラン」(「水マス」)を策定して10年目にあたることから、点検を実施しています。そこで、流域の方々に「水マス」の重要性を知ってもらい、更に「水マス」を推進するためのシンポジウムを行います。

平成26年11月1日(土) 場所:鶴見公会堂 ホール
「あなたの街にもやってくる 温暖化豪雨時代とドラゴンゾーン」

～ 横浜市鶴見区・川崎市幸区は、
鶴見川と多摩川、二つの川の洪水が行政区を越えてやってくる
ドラゴンがうねる共通氾濫域とその周辺の危機を知る ～

! 要申込・参加費無料・先着順・申込〆切 10月31日!

■シンポジウム(定員 200名)13:30-16:00(13:00開場)

詳細は京浜河川事務所 HP ↓

鶴見川 > 鶴見川で学ぶ、遊ぶ、参加する > [ふれあって流域鶴見川](#)

～セミナーのお知らせ～ 多摩川

多摩川にまつわる歴史文化を総合的に研究し、その成果をわかりやすく多摩川で活動する人が利用し、多摩川をより深く知ることができるように活動する目的で、多摩川流域懇談会歴史部会が設立されました。

多摩川と人間の関わりの歴史を掘り起こし、「多摩川らしさ」としての地域文化を再発見していきます。

第1回 多摩川流域歴史セミナー

『考古学的多摩川の見方』

【日時】平成26年11月16日(日) 13時～16時(開場12時半)

【場所】大田区立郷土博物館 2階会議室

【内容】『考古学的視点から見た多摩川の歴史』 講演:小田静夫氏

【申込・問合せ先】多摩川流域懇談会連絡事務局 みずとみどり研究会

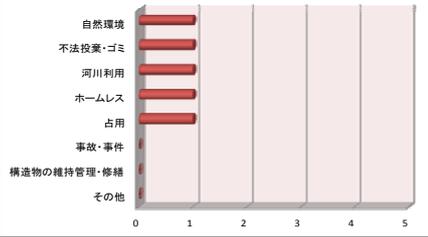
【費用】参加費無料 【定員】80名

詳細は京浜河川事務所 HP →多摩川 > 多摩川の事業計画 >

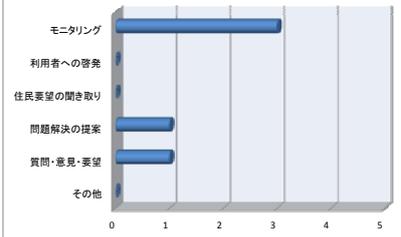
> 多摩川水系河川整備計画 > [多摩川流域セミナー](#)

平成26年9月は、3件の報告をいただきました。ありがとうございました。

対象分野



連絡内容



管轄区間	登録人数	報告人数	報告件数
鶴見川下流	6人	0人	0件
鶴見川上流	6人	0人	0件
多摩川下流	7人	0人	0件
多摩川中流	9人	1人	1件
多摩川上流	3人	1人	1件
相模川	7人	0人	0件
浅川	8人	1人	1件
合計	46人	3人	3件

9月のご報告より

一部内容を省略させていただいているものもあります。ご了承ください。

多摩川上流分科会 岡田様

拝島自然公園の上流川入口付近の散策路上にロープとネットが張られ、その奥にブルーシートの小屋、自転車があり一般の人が近づけないようになっていました。中から犬が吠える声がかしているところから見ると、9/4以降9/10までの間で住みついた人がいるようです。その奥の右には、以前から住んでいる人がその更に上流方向に1つ新しいブルーシート小屋が出来、この奥川に寄ったところにも、最近ブルーシートがあるようですが、今回新しく住みついたところのように、バリケードを作っているようには見えません。この日もたくさんの子どもたち(幼稚園生か)が公園に来ていましたが、仮設トイレのすぐそばにあるので目立ちます。一般の方が気づいたことがあった時連絡できるよう、河川事務所のTELを書いた立て札を立てると安心されるのではと思います。

多摩川中流分科会 中川様

河川巡視のパトロール巡回中などの表記等について、子供の視線にたった考えや、ソフトなフレーズが効果的なのでは等のご意見をいただきました。

浅川分科会 加藤様

イベントに参加された際の水中生物の状況や川の状況等を報告していただきました。

皆様からのご報告お待ちしております！

台風18号の出水状況について

10月に入り台風18号、19号が2週連続で日本に上陸しました。特に18号では、東日本の太平洋側を中心に非常に激しい雨が降りました。通勤時間帯にもあたり、交通機関にもたくさんの影響が出ました。

京浜河川事務所管内では、多摩川流域では、田園調布(上)ではん濫注意水位に達する出水となりました。鶴見川流域では、亀の子橋で避難判断水位を超える出水となり、支川の鳥山川では計画高水位を超える出水となりました。また、鶴見川多目的遊水地では、過去最大となる約154万立方メートル(流入量)の洪水調節を行いました。相模川流域では、神川橋では、避難判断水位に達する出水となりました。

気象概況(多摩川流域)

多摩川流域では、6日7時頃から6日10時頃にかけて、非常に強い降雨となり、下流部の田園調布(下)(世田谷区)では、1時間に32mm、総雨量で314mmもの降雨となり、流域全体の総雨量は200mm～300mmの降雨となりました。



気象概況(鶴見川流域)

鶴見川流域では、5日4時頃から6日11時頃にかけて降雨をもらし、流域センター(横浜市)では1時間に最大46mmの激しい降雨を観測しました。流域全体では総雨量が300mm前後の降雨となりました。



気象概況(相模川流域)

10月5日6時から降り始めた雨は、寒川(神奈川県寒川町)では1時間に最大65mm、平塚(神奈川県平塚市)では1時間に最大57mmの非常に激しい雨を観測しました。流域全体では総雨量が300mm前後の降雨となりました。



京浜河川事務所では10月5日(日)17時00分に注意体制に入り、10月6日(月)9時10分に注意体制から警戒体制に移行し、厳重な監視を行うと共に、関係機関への情報提供等を実施しました。

主な取り組みとして、洪水予報を公表/特別警戒水位の公表/水防警報の発表/流量観測の実施/河川利用者及び許可構造物管理者に対し、注意喚起を実施/ホームレスへの対応として注意喚起のピラを配布/ホームページ等による情報提供/マルチコールにより水位等の情報を登録者に配信/洪水被害の未然防止を図るため河川管理施設の操作/洪水による河川管理施設の被災状況を把握する事を目的に、巡視による河川管理施設等状況把握等を実施しました。

詳細につきましては京浜河川事務所のHPIに掲載していますので是非ご覧ください。

→最新記者発表資料>多摩川、鶴見川、相模川の台風18号による出水概要について

RCM事務局より

台風19号が通過した14日は、静岡県三島市・富士市では気温が30℃の真夏日に、一方北海道北見市の石北峠では雪が降るなど、同じ日本国内なの?と思わせる現象がみられました。自然現象は不思議ですね。 RCM事務局 山口